



Beyond KUSS , 2023 !!



春学期後半、夏季休業に向けて

中間考査、おつかれさまでした。本校の教育課程は、全員が5教科すべての科目を履修することになっています。特定の教科に偏ることなく、学びの基礎を十分に鍛え、ひとりひとりが卒業後のステージに立ち向かう力を身につけていくためです。

前号でもお知らせしているよう、中間考査後は必ず、共通テスト模試と中間考査を見直してください。この2つは夏季休業中にどの科目・どの分野に時間を費やす必要があるかを考える重要な材料になります。夏季休業など授業のない期間は、自分のペースで学習を進めることができます。その期間に主体的に学ぶことができる人と、できない人では、実力定着に大きな差が開いていきます。これをできるかどうかは、夏季休業期間のみならず、共通テスト後、前期日程までの期間ではさらに差が拡大します。主体的に学ぶことができるひとになりましょう。遠回りに見えても、それが「第1志望」突破への王道です。

夏季休業まで、6年生の学校生活はそこそこたいへんです。中間考査と共通テスト模試の見直し。そして、締切が6月15日(水)に迫っている卒業研究の総仕上げに取り組みましょう。梅雨に向かう季節です。体調に気をつけ、日々の取組を充実させていきましょう。

第2回進路希望調査

第2回進路希望調査を実施しました。次ページに集計情報を掲載しています(省略)。参考資料として、9回生の4月の状況、8回生、7回生の6年6月期の状況を掲載しています。

3名以上が志望する大学は、神戸(32)、京都(25)、大阪(20)、東京(7)、北海道(5)、東京工業(5)、大阪公立(5)、一橋(3)、京都市芸(3)、早稲田(3)です。人文・社会科学類型(50)は、神戸(17)、大阪(9)、京都(4)、一橋(3)、京都市芸(3)、早稲田(3)です。自然・生命科学類型(75)は、京都(21)、神戸(15)、大阪(11)、東京(6)、東京工業(5)、北海道(4)、大阪公立(3)です。以下は9回生としての傾向です。自身の「第1志望」に自信を持ち、家族・教員・友人にその魅力(長所も短所も)を説明できるようになりましょう。

◆ 7回生・8回生との違い

- 1 東京大学が少ない。5年時から今回の調査まで2桁希望は一度もなし。過去は2桁
- 2 神戸大学が多い。5年時から今回の調査まで常に30名以上。過去は20名弱
- 3 これまでほとんどなかった、北海道、東京工業、一橋、大阪公立希望者が一定数存在。
過去はこれら4大学全体で5名程度
- 4 私立大学希望減少(7)。8回生は10名、7回生は16名
- 5 私大希望の大半(5)が早稲田・慶應を希望。過去は3割弱

◇ 7回生・8回生とほぼ同傾向

- 1 京都大学希望(25)が大阪大学希望(20)を上回る。8回生(26、19)からの傾向
- 2 希望上位4大学が全体の67%を占める。8回生68%、7回生57%
- 3 医学科希望が10名弱(9)。8回生12名、7回生6名

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS , 2023 !』など進路課が発信する情報の一部をHPに掲載しています。